

自己評価・外部評価・運営推進会議 <R6年度：情報公表>

No.	タイトル	評価項目	自己評価(職員)	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(評価委員より)
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	ホーム理念を職員が周知し共有するとともに、施設内や勤務表にも掲げている。年間計画や行事を企画する際は地域との交流も検討しながら計画を立てている。昨年同様感染症対策を十分留意している。尊厳を大切にし、本人に寄り添い信頼できるケア・接遇を心掛けている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(0)	地域での祭りや学校行事など誘いがあった場合は積極的に参加し地域の一員として交流を図れるよう努力している。今年は、会議で地区の蕎麦打ち見学について情報を頂き、初めて利用者様と一緒に参加した。利用者様はとても満足された。	会議では毎回、地域とのつながりの下での情報交換を行っている。認知症の方への理解や生活の中での支援を伝えている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	定期的(2ヶ月に1回)に会議を開催し地区会長、民生委員、市職員、家族、利用者も参加し開催している。今年度より運営推進会議での評価実施をおこなった。情報提供と話し合い、また、意見をもらい事業の運営とサービスの向上に繋げている。	利用者へのサービスの状況報告を行い、都度、意見を頂いている。施設で即周知できるものはすぐに現場へ下ろし、サービスの向上に努めている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	毎年、行政より定期的に案内やアンケート調査がある。年一回他施設参加でのヒアリングを実施し情報提供と共有を図っている。必要時は、連絡を取り担当者と相談し協力体制を築いている。	会議では、行政との会議の内容等伝えている。行政と事業所との連携についても会議の中で伝え今後のサービスの取り組みについて話し合っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	法人での研修に参加し委員会活動でも身体拘束をしないケアの検討をしている。リスクの高い利用者へは、随時家族への説明を十分に行い情報提供している。利用者の安全を図りながらセンサーの設置リスクを予想した対応を行っている。現在、玄関の施錠(防犯含め)を行っているが自由に外へ行けるような関りを行っている。現在身体拘束は行っていない。	毎月定期的に委員会を開催し施設全体で取り組んでいる。会議の中で都度(特にリスクや事故があった場合)情報の共有を図っている。他所所属部署からの認知症への理解を含めた情報提供を行い施設の取り組みや対応策なども伝えている。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	毎年法人で高齢者虐待防止等についての職員研修がある。ホームでは、スピーチロクについて自分自身や他職員の言葉についてもお互い注意できるよう心掛けている。接遇の研修も行っており、虐待防止に努めている。	法人内での研修内容や虐待の防止策についての事例やホーム内での取り組み、接遇マナーや法人理念の読み合わせなど行っている。職員間での周知を図り一人一人認識し努めている。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(5) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(1)	毎年法人で研修があり参加している。日常生活自立支援事業や成年後見制度は利用者個々について、法人の相談員と連携しながら進めている。今後も学ぶ機会を設ける	法人内での制度の研修について毎年行っていることを報告した。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	契約の際は事前に不安や質問等話し合う場を設けるなど十分な時間をとり説明を行い都度不明な点やわからない点は確認している。後日においても確認し合い納得の上契約いただいている。退居の際も十分な話し合いの場を持ち、納得の上で退居されている。	入居時の家族との関りや説明・話し合いの重要性なども含め情報を伝えた。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	必ず利用者の状態を話し家族の意向も聞いている。苦情を受け付ける意見箱の設置をしておき、苦情解決委員会で検討の仕組みがある。意見が出た場合は、早急に職員間へ情報の共有を図り、迅速に対応して取り組んでいる。施設全体での取り組みとして行っている。	苦情受付内容については、都度、委員会での話し合いの内容なども含め情報共有を図っている。利用者や家族の声なども情報を伝え、それぞれの立場としての意見を求めている。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	個別面談や日常での話し合う機会を設けている。また、カンファレンスや全体会議で意見や提案を出し合い実践に結び付けている。職員とは年に2回面談の機会がある。年1回職員の意向調査と必要時施設長との個別面談も行っている。職員の仕事への向き方や達成感に繋がるよう共有を図っている。	職員と上司との年2回の個別面談を行い、仕事に対する思いや不安、悩みごとなど働き方についての聞きとりを行っている。職場環境の定期的に把握・見直しを行っている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	各自が向上心を持って働けるよう、職場環境や条件の整備については、法人として全体で継続的に検討している。安全衛生委員会で職場環境やメンタル面のサポートも厚くなっている。年2回個別面談を行い思いの聞き取りを行い整備に努めている。	毎年2回の個別面談を行い、一人一人の意見や思いなど聞き取りをし、その中での振り返りを行っている。法人全体で働きやすい環境作りについての説明を行い情報提供した。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	法人の職員研修の機会が多く、利用者に対してきちんと向き合える知識と良識を持った職員が育つような様々な学びの場を作っている。認知症実践者研修等の資格取得者も多い。個々のスキルアップ自己研鑽できる働きかけを行い、できるだけ多くの職員が研修を受けられるよう配慮している。	みゆき福祉法人全体で人材育成に力を入れている。新人・中堅・上級・管理職と階層別に分け定期的に研修を行っている。研修内容等も伝ええ取り組んでいる事を説明した。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(3) D. ほとんどできていない(0)	山形県村山ブロックのGH連絡会に所属し、例年、各種会議への参加・交流研修に参加している。他施設職員との交流も深め職員のスキルアップにつながるよう取り組んでいる。昨年に引き続き会議においては主にリモートで行い学んでいる。	グループホーム協議会ではみずほ職員が役員として配置され取り組んでいる。毎年、協議会主催の交流研修を行い、他施設との情報交換を行う。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	入居の際は居宅からの紹介や情報の他、家族や本人の情報をもとに職員全員で共有し、本人・家族の安心を確保する為の関係づくりに努めている。環境の変化による心身の状態の変化に配慮しながら関係づくりに努めている。	毎回、写真や資料を使用して月ごとに生活の様子を伝えている。意見や感想を頂き、今後のサービス提供に繋げている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	職員は、日常の関りの中から思いを引き出せる様会話力を身に着け努力している。昔からの馴染みを忘れないよう、電話や面会時は情報をお伝えし、信頼関係を築けるよう積極的に取り組んでいる。	生活の様子を伝え情報共有を図っている。利用者代表や家族代表からの意見も参考にし、今後の事業運営に繋げている。		
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	利用者同士の関係作りに配慮している。家事や余暇活動の際は、個々の人間関係に配慮して活動を楽しめるように工夫している。ひとり一人の状態に合わせてながら孤立しない様関わっている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	定期的に家族との情報交換や必要時は課題となる事の話合いを行っている。意見や意向に沿ったうえで、現状に即した計画を立てている。	定期的に家族への情報提供を行い、都度、一緒に考え、利用者様にとってより良いケアが出来る様アイデアを出し合い行っている。ケアカンファレンスでの話し合いの場を設けている。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	日常の会話での気づきやアセスメントシートを活用し、本人のできる力を大切に、一人一人に合わせた活動や趣味など出来そうなところと一緒にいる事で関係作りをしている。職員間での情報の共有を図り尊厳を大切に、その人らしく暮らせるよう支援の配慮を行っている。	日常生活での様子について、日頃からの気づきや一人一人に合わせたアセスメントの重要性、職員間の情報共有などお伝えした。その人らしい生活の継続が行えるよう今後も支援していく。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	日々の生活の中で情報を集め、職員間での情報共有を図っている。都度、ひとり一人のニーズの把握をし、職員間での話し合いを持ちサービスに繋げている。	その都度生まれるニーズに対して、職員間での情報の共有を図り、話し合いながら柔軟な対応で取り組めるよう心掛けている。会議の中で毎回報告を行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(0)	防災訓練では地域の協力を得ながら行っている。また、交流活動では、地域に出向き、利用者が地域の中で暮らしている事を感じながら、今後の課題を踏まえ少しずつ活動内容の検討を行っている。	R6.6月と11月に防災訓練を行った。日中と夜間の想定で利用者と一緒に訓練を行う事で、防災についての危機感や移動の流れなど確認し合った。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	本人及び家族の希望を大切に、在宅の医療機関の受診を継続している。通院の相談や報告などの連携もしている。また、協力病院の往診も受けている。状態の安定されている方はご家族様対応で受診し、都度、家族への情報提供を行っている。必要な方は職員が付き添いを行っている。	利用者個々のかかりつけ医についての必要と課題等の情報提供を行った。適切なケアの継続と施設での対応など情報の共有を図った。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	入院先の病院や協力病院の医療福祉相談員とその都度情報交換を行い、連携を図り早期退院に向け努めている。退院に関しても主治医・看護師との情報提供を行い退院後スムーズに生活を送れるよう多職種も教諭を図り長期入院でレベル低下のないように心がけている。R6より医療連携相談会議を定期的に開催し、病院と施設間での連携を図っている。	日常からの健康観察やちょっとした体調不良時の確認や経過観察な早期受診するなど対応している。医務課や各かかりつけ病院や主治医との連携を図り、また、ご家族との情報提供や相談、日頃の様子なども随時報告し安心している。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	看取りについて情報収集を行い、ホームの会議においても学習会を開き、職員の理解を深めている。予想される状態については、主治医と相談し、必要となる対応を整えている。看取りケアについては、2週間ごとカンフ	利用者の重度化や看取りケアについての情報提供を行った。家族代表者からは看取りケアに至るまでの状況の確認や今後の不安の声が出た。一つ一つの声を大切に、事業	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		係者と共にチームで支援に取り組んでいる		アレンスを開催し、経過や対応など職員間で情報を共有している。	所としての対応など今後もサービス提供に努めていく。		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	全職員が年に一度応急手当や初期対応・AEDの使い方など、場所の確認・使い方を見直し、実践力を高めている。緊急時は、マニュアル通り実践できるよう準備し定期的に確認している。	事故発生についての流れや研修、マニュアルについての情報を伝えた。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(3) D. ほとんどできていない(0)	年2回夜間も含めて防災訓練を行っているが感染対策の為昨年は地域の方は参加されていない。利用者の安心・安全を守れるよう施設内訓練の実施(年2回)と書面での確認を定期的に行っている。	7月と11月にグループホームの防災訓練が実施し報告している。(※11月は予定の段階で報告済み)今後の課題や地域との連携について確認した。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	ホーム理念の「尊厳を大切にしながらともに支え合う」を大切に、声掛けにも声の大きさ、トーンにも配慮しながら行っている。自分達と同じよう当たり前の生活が継続できるよう、接遇にも力を入れて対応している。食事の準備や後片付け、畑作業など経験を活かした仕事ぶりに感謝と一緒に楽しむを持ち生きがいを感じられるよう心掛けている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	一人一人のペースに合わせ、希望に添えるよう意見を聞きながら支援している。意思表示が困難な場合は、体調・表情・雰囲気などを見ながら個々に合わせ支援している。	生活状況を含め毎回の会議にて伝えている。写真なども参考にして頂きながら説明している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	食事作り(食材切りや盛り付けなど)を出来る事を一緒にやり関わりを持っている。一人ひとりに合った食形態に配慮し、ゆったりと食事が出来るように心がけている。食器拭き等の片づけは職員と会話を楽しみながら出来ている。献立作りも利用者と一緒に考え聞き取りを行ったり希望に合わせて作っている。	食事の楽しみや家事作業なども一人一人生活の中での支援について意欲が持てるような働きかけを行い職員間での情報共有を図っている。職員と一緒にやる事で、関わりを深く持ち信頼関係を築いている。会議時は写真での様子をわかりやすく説明している。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	食事量、水分量、排泄についてチェックを表用い職員で把握し自立支援につなげている。ムセリのある方にはトロミ剤を使用し個々に応じて対応している。献立は業者の献立表を参考にし、食材の偏りがないよう栄養バランスがとれ食べやすい食事になるよう心掛けている。	毎日の献立作成も利用者の方と一緒に相談し考えている。その時の好みの物など利用者からの希望も添いながら栄養面での配慮し作成している。楽しみにもつながっている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(8) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	歯科衛生士を配置し口腔ケアの指導を受け一日3回の歯磨き習慣を行っている。一人で出来る、声掛けで出来る、一緒に行う、など全介助等段階に応じ支援している。毎食一人ひとりに合った口腔ケアを行っている。	日頃より誤嚥性肺炎に繋がらない様定期的な歯科衛生士の指導を受けている。日常の口腔内の清潔保持についての指導や迅速な対応で医師とのスムーズな伝達・治療へ勧められるよう連携している。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	トイレに行きたいというサインを見逃さず誘う事や、定時に誘導するよう支援している。自力でトイレに行ける利用者にはさりげなく状況を聞いている。誘導の際は、出来るだけ小声で伝えプライバシーに配慮している。個々の排泄パターンをつかみ、それぞれに合わせたオムツパットを使用し支援を行っている。	排泄ケアについて、適切な排泄ケアが行えるよう支援している。認知症の方は排泄誘導や対応が難しくなる場合も有り、水分や運動を取り入れながら個々に合わせ対応している。食事・排泄・睡眠が上手く出来る様支援していく。問題や課題が出た場合は早めの検討を行い職員間での共有を図っている。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(6) C. あまりできていない(5) D. ほとんどできていない(0)	曜日やメンバーの設定は行わず、一人ひとりの生活ペースと状態にあわせ、見守り・声がけし、気持ちよく、また、清潔が保てるよう入浴を支援している。拒んでしまう方には、無理強いせず、誘導の方法や声掛けのタイミング、職員を換えてみたりするなど工夫している。	日常での生活の中で、楽しみとなるような工夫を行い提供している。利用者が入れる時間帯に対応できるよう工夫をしたり、入りたくない場合は無理強いせず時間をずらすなど一人ひとりに応じた対応を行っている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(11) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	一人ひとりの生活パターンを把握し、昼夜安心して休めるよう情報共有を図り対応している。リラックスして休める様、部屋の環境面での物、音、温度などにも配慮に快適に休めるよう対応している。	日中の活動性を上げ、夜間安眠できるように配慮している。必要に応じては日中休んで頂く時間を設けながら一人一人の支援を心掛けている。本人の生活スタイルに合わせて対応している。		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(9) C. あまりできていない(2) D. ほとんどできていない(0)	薬係担当を配置し、利用者内服状況の一覧表や薬情ファイルを作成。いつでも確認できるようにしている。個々の内服状況を理解し、利用者の身体精神状況の観察・共有している。また、変化が見られた際は早め相談窓口へ連絡し対応をとっている。服薬支援については、3度のチェック体制を整え誤薬防止に繋げている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(11) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	入居時、事前「フェースシート」(利用者に係る基本情報の記載するシート)を記入していただき、職員間で情報の共有を図り支援に繋げている。好みの物・食べ物・趣味・楽しみ・嫌な物や苦手な事など多方面にあたって出来るだけその方を理解しサービスの提供に努めている。	毎回、写真などで生活の様子をお伝えしている。日頃の家事作業や役割を持つことよっての張り合いや生き活きとして暮らしが継続できるよう支援している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(6) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(1)	生活の中で一人一人の思いやニーズを拾い、また、家族からの情報提供なども参考にしている。買い物や行きつけ美容室などへ出かけ、非日常から離れ楽しみの提供を図っている。	会議の中で写真等を活用しながら毎回報告し状況を伝えている。できるだけその方の思いや様子など解りやすく伝えている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない(3) D. ほとんどできていない(6)	今現在、利用者管理している方はいないが、本人の希望に応じ職員や家族対応で要望に応じている。(家族への情報提供)個々の状況に応じて可能な方は自己での所持をし実施していく。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている(2) B. ほぼできている(5) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(0)	在宅から自ら携帯を持っている方は持参されている。自ら電話したり家族や身内の方からの連絡のやりとりをしている。職員も間に入り対応する事もある。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	感染症予防対策の為、席の配置にも検討し、密集・密接・机の向きなど予防対策を行った。デイルームや廊下には、季節感のあるものを飾り、共用の空間は、利用者同士のコミュニケーションがとれるよう席の配置を工夫している。また、お互いのプライバシーに配慮し、居心地の良い場所になるよう配慮している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(11) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	一人一人の思いを大切に、意向に沿った暮らしの継続ができるよう配慮している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	一人一人の性格や気性、生活歴や習慣など把握しながら日々観察しお互いに安心して信頼感ある生活が送れるよう配慮している。職員間での情報の共有を図りケアに繋がっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	毎日、日常での健康観察を行い、日々の状況を職員間で共有し対応にあたっている。細やかな観察を行いながら変化を見逃さない様、観察力をつけ支援に努めている。必要時は早期対応を行い受診に繋がっている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	本人の尊厳を大切に、事前に入居前の情報を集め、今までの暮らしの継続が出来る様情報の共有を図り支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(11) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	本人の馴染みの物や大事にしている物等があれば自室への持ち込みをしていただき、その人らしい安心できる部屋作りでの環境面での工夫を行っている。安心して安らげる空間作りに配慮している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(7) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(0)	日常生活の意向を聞いたり思いを組み取り計画を立て、出来るだけ思いに添えるよう対応している。常日頃からの雰囲気を感じ、一緒に散歩したり気分転換を図っている。施設近くの神社への祭りにも参加し、地域との関りも大事にしている。	日常の中で散歩やドライブなど定期的に行い気分転換を図っている事を写真と通し伝えている。会議にて都度利用者の声や表情なども伝え地域代表の方からの声も今後の運営に繋がっていきたい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(11) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	利用者一人一人の状況を理解し、職員間での情報共有を図っている。日常の中で、役割を持ち、生き生きとした生活が継続できるよう支援している。利用者の負担とならない様、職員と一緒に行動等配慮している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている(1) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(0) D. ほとんどできていない(0)	一人ひとりの好みや特技、昔の生活の情報など家族から情報を聞いたり、本人と会話の中から引き出し、職員間での情報の共有を図っている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(6) C. あまりできていない(4) D. ほとんどできていない(1)	散歩や外出など行った際、地域の方との挨拶を交わしたり、神社の祭りや学校の運動会へ出向くなど交流を図っている。コロナ禍以降、少しずつ活動を企画している。今年度は、新たに牧野地区蕎麦打ちに職員と一緒に参加(1名)でき大変満足された。	交流があった際は会議にて、利用者や職員の表情なども含め情報を伝えている。今後も地域の予定など情報を聞きながら、出来るだけ地域へ出向き参加し交流が図れるよう支援していきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている(0) B. ほぼできている(10) C. あまりできていない(1) D. ほとんどできていない(0)	不安や寂しさを感じた際は状況に応じながら気持ちが安定できるよう、寄り添いながら話をしたり関わりを持つことで安心感ある生活を送れるよう支援に努めている。少人数での暮らしの中で、馴染みの関係性を保つことができている。地域の中で安心して暮しているという実感を持っていただけるよう努めている。今後もホームでの活動の取り組みなど地域への発信も行っていく。	出来るだけ地域の行事など職員と一緒に参加し、地域の中で暮らしているという実感を持ち、楽しみや刺激となる様働きかけを行っている。一人ひとりが楽しく安心して地域の中で暮らしの継続が出来る様今後も情報を得ながら交流の場を増やしていきたい。	A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつも手厚い介護をして頂き感謝しかありません。早く世の中が落ち着いて、少しでも自宅に外出できる日が「来てくれればと願っています。